

人員の範囲で実施可能な最も効果的な方法による適正な運用を求め、賛成する、との発言がありました。

以上の審議の後、全員賛成で可決しました。

暴力団排除活動を推進する「暴力団排除条例」を可決

「議案第83号 国分寺市暴力団排除条例について」は、市民と行政が一体となって市民の生活及び事業活動の場から暴力団を排除し、安全で平穏な市民生活の確保等を目的として、本年2月に提案され、議会からの指摘等を踏まえ修正し、今定例会に改めて提案されたものです。

委員会での主な質疑としては、委員より、暴力団員でないことの警察への照会における個人情報保護対応について問われ、担当より、警察と交わす「暴力団排除措置に関する合意書」に不要情報を抹消する条項を定め、個人情報の適正処理を行う、との答弁がありました。また委員より、他自治体の条例にならい、虚偽の養子縁組の戸籍届出に対処する条文も盛り込むべきとの意見や「暴力団追放宣言」の検討や犯罪防止効果の高い防犯カメラの設置を求める意見がありました。

さらに委員より、市民の協力を得る前提として、警察には、暴力団排除に協力した市民に危

害が及ぶ場合や脅迫等があった場合の万全な対応を、また国には、万が一市民が犠牲になった場合の補償も含めた法整備を求めたい、との発言もありました。

委員会では以上の審査の後、全員賛成で可決しました。

また本会議では、討論として、暴力団の排除を理由に、暴力団から脱退し更生を図ろうとする者が疎外されることや市民の自由や権利が制約されることがあってはならないことを申し添え賛成する、との発言があり、以上の審議の後、全員賛成で可決しました。

庁舎節電対策費や防犯カメラ設置補助費を含む一般会計補正予算を可決

本案は、今年度の予算総額に1億1,030万7千円追加し、389億7,530万7千円とするもので、主な内容としては、庁舎内照明のLED化による庁舎維持管理費の増額、児童手当法改正に伴う所得制限の緩和による義務教育就学児医療費助成費の増額、都市計画道路3・2・8号線整備に伴う下水道施設移設工事のための下水道事業特別会計への繰出金の増額、4月27日の臨時会での議決に伴う議員報酬費の減額、障害者自立支援法改正に伴うサービス利用計画作成事業費の減額、民間保育所の開設日延伸に伴う保育

所入所児委託費の減額などです。

本案は6月20日に、8名で構成する補正予算審査特別委員会（片畑智子委員長、いとう太郎副委員長）において審査を行いました。

委員会での主な質疑としては、予算補正後の「外国語版暮らしのガイド」作成事業の内容と外国人ニーズの把握について、街頭防犯カメラ設置費補助事業に関し、映像記録情報の管理と防犯カメラ設置の住民への周知について、高齢者を熱中症等から守る対策事業における高齢者の生活実態の把握、訪問対象者、熱中症予防対策グッズ等について、木造住宅耐震診断士派遣事業・木造住宅耐震改修助成事業の今後の予算対応について、七小・八小が研究校指定となったコミュニティ・スクール推進事業のスケジュールとコミュニティ・スクール推進委員会について、などの質疑が行われました。

委員会では、討論として、「外国語版暮らしのガイド」作成事業に関し、事業の緊急性、合理性、必要性、実効性を確認することができず、市財政が極めて厳しい状況の下では、本事業は再考すべきであり、本案には反対する、との発言があり、賛成多数で可決しました。

また本会議では、委員会と同趣旨の反対討論が行われ、賛成多数で可決しました。

市政を問う 平成24年第2回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

要旨については、一定のスペース内で各議員が自由な様式でまとめたものを質問順に掲載しています。

市民の元気を支える事が市の活性化に繋がる



自民党新政クラブ 田中 政義

1. 市の公共工事、道路工事のあり方について
問) 市民から道路の補修等々の要望があった際現地調査の後に丁寧な説明をされていると思うが、2度手間、3度手間になるのではないかと考える工事の進め方が目に付く。

都市建設部長) 効率を考慮して進めていきたい。
田中) 工事に限らず、どんな仕事でも同じだが完成形を頭に入れて仕事をする事で効率も上がり、支出の削減にもつながると思う。

2. 国分寺らしさあふれるブランドの確立について
問) 市民や民間と力を合わせ、国分寺市らしい商品開発、発掘やバックアップに行政としても積極的に取り組んでもらいたいと思う。
市長) 民間の皆さんの試みを大きく育てていくことは大事なことである。行政でどういう事が考えられるか現在検討している。

3. 国分寺駅北口駅前広場について
問) 国分寺市に創設当初から社屋を構えるタツノコプロにご協力頂き、ヤッターワンの実物大を作成し広場に設置できないか。

都市開発部長) これから整備する駅前広場の一部に小規模だが人が集まれる広場の設置は考えている。
田中) 何より話題性、また親近感が人を呼び、市のにぎわいに大きく貢献できるものとする。樋口副市長) そこにしか無いもので国分寺市がPRできればと思う。考え方をしっかり受けとめて取り組んでまいりたい。

4. 都市計画道路について
問) 国3・2・8号線の沿道は市の活性化の起爆剤とすべきだと考える。市の考え方は、

都市計画担当部長) 良好な住環境の保全と活力ある沿道空間の創出が図れるよう検討する。

問) 再開発事業の完了後に速やかに実施するとある3・4・12号線だが早期整備が必要ではないか。
都市建設部長) 極めて重要な路線であると考えている。都の整備方針、市の長期総合計画に定められている。具体的な検討を進めていく。～その他、ぶんバス北町ルート、災害時における活用の必要性から井戸の整備について、市内スポーツ大会の開催について質問した。～

行政改革 税外収の施策を積極的に求む!



無会派(みんなの党) おざわ 脩

税外収入について

問) おざわ) これまでも質問してきた広告収入についての進捗状況について教えてください。

答) 政策部長) 現時点では変わっておりません。
意見) おざわ) これまでも広告収入については様々な場面でも取り上げられてきているが、いっこうに進まない状態が続いています。国分寺市における広告収入施策の位置づけは長期総合計画の財政計画編の中で積極的に取り組むと明記されている訳ですから行政側は積極的に取り組んで下さい。積極的に取り組むためには各部署に任せるのではなく、まず誰かが責任を持って音頭とらなくては行けない。

災害対策について

問) おざわ) 竜巻が発生した場合の本市の対応と地域防災計画への反映状況について。

答) 総務部長) 竜巻の発生が事前に予測することが困難なため現時点では明確な対応というものは無い。見直している地域防災計画への反映は政府の竜巻突風対策にかかる会議の結果を受

けて反映していく。

問) おざわ) 市内の空き家の把握と空き家対策条例について検討状況は?

答) 都市計画担当部長) 現在、空き家数は把握していない、条例については研究課題である。
教育環境について

問) おざわ) 第五中学校の家庭科室の窓の修繕の見通しは?

答) 教育次長兼教育部長) ご指摘の箇所の修繕は26年度の大規模改修の中で実施していきたい。

史跡武蔵国分寺について

問) おざわ) ブラタモリというTV番組で使用されていたCGを活用してはいかがか?

答) 教育次長兼教育部長) 相手側にCGの利活用ができるように交渉していきたいと思えます。

職員の通勤交通手段について

問) おざわ) 防災・健康・環境配慮の観点から職員の自転車通勤をもっと促進すべきでは?

答) 総務部長) 様々な自治体の取り組み状況を把握し検討していく。

更なる行政改革! 市民のための市政運営を!



公明党 なおの 克

●情報システムについて

問) 一つのシステムに対し複数業者が管理している実態がある。コストも掛り、精査すべきだ。

政策部長) 指摘の通り、多数の契約が存在する。このため責任範囲の不明確、障害原因の特定、対策に時間がかかる。改善すべきものとする。

問) MicrosoftのOS、Officeのサポート終了時期が迫っている。対応は大丈夫か?

政策部長) 各システムの約2/3のサーバ、端末が次ページに続く ↓